

京都市北区の紫野・紫竹界限（紫野・紫竹・待鳳・鳳徳の4学区からなるエリア）を「むらさきエリア」と愛称して、当該エリアにおける歴史・伝統・文化・教育や、人々の暮らしと生活・団体個人各種活動などの「ヒト・モノ・コト」が表現する様々な価値観を『むらさきスタイル』として互いに認め築き合うことにより、当該エリアを多種多様な価値観の共存する場へと昇華して内外に周知・発信しながら地域還元していくプロセス・ムーブメントを「むらさきスタイルプロジェクト」と名付けました。

【むらさきスタイルプロジェクトとは】

京都市北区の紫野・紫竹界限（紫野・紫竹・待鳳・鳳徳の４学区からなるエリア）を「むらさきエリア」と愛称して、当該エリアにおける歴史・伝統・文化・教育や、人々の暮らしと生活・団体個人各種活動などの「ヒト・モノ・コト」が表現する様々な価値観を『むらさきスタイル』として互いに認め築き合うことにより、当該エリアを多種多様な価値観の共存する場へと昇華して内外に周知・発信しながら地域還元していくプロセス・ムーブメントを「むらさきスタイルプロジェクト」と名付けました。

サミット

ていきたい。
屋さん」が担ぐのを
も自分たちは
で
誇り。

北区は中心部にも出ていけるが、生活をそこに行かなくても十分、楽しめるだけの色んなものが揃っているのが魅力。特徴的な町人に会えよう！ツアーがしたい。

まちの子供たちが帰りたいと思う環境を作ることが大事。

コミュニティの中で働く幸せを伝えたい。

溶け込んでいく。

祭りなど、目に見えるものがあることでコミュニケーションが取りやすい関係性を作り交流を広げるためのサミットになればいいと考えている。

高奥英路
サミットメンバー
紫竹学区自治連合会長

今宮の神輿は狭い路地を通っていくのでスリリング

荒川朋彦
サミットメンバー
むらさきスタイルプロジェクト推進協議会副会長

吉本誠
サミットメンバー
鳳徳学区自主協会の会長

石崎伊佐雄
サミットメンバー
紫野学区まちづくり協議会会長

商店街と地域が一体となることが理想

むらさきエリアにどのような魅力があるのかを誰にでも説明できるようにする必要があります。

・紫野界限のまちなみ「ワクト」の呼びかけに応じた方から、意見をうかがった。

区以外の祭りに参加する等できるような取り組みをしたい。

隣の学区に遊びに行くとかそのまちの良さを伝えるために持つのかもしれない

神社を通じたコミュニケーション→普段は顔を合わせなくても掃除当番制とかで会うことになる

[企画・協力] 京都市都市計画局まち再生・創造推進室、むらさきスタイルプロジェクト [デザイン・編集] 平野拓也デザイン事務所 [編集補佐] 齋藤風沙 [作成年月] 令和６年３月